This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact**.

We welcome feedback on its contents.

STEEL PRO

Communication on Progress

2014年度報告

対象期間 ： 2014年1月～2014年12月

原田鋼業株式会社

2015 年 1 月 24 日

◆目次

STEEL PRO

◆トップステートメント p.3
◆グローバル・コンパクトの 10 原則 p.4
◆会社概要 p.5
◆2014年度活動の基本方針 p.6
◆人権分野に関する活動報告 p.7
◆労働基準・腐敗防止に関する活動報告 p.8
◆環境分野に関する活動報告（その1） p.9
（その2） p.10
◆その他の活動報告（地域貢献を目指して：その1） p.11
（地域貢献を目指して：その2） p.12
（世界の子供たちのために） p.13

◆トップステートメント

国連の提唱する人権、労働、環境および腐敗防止に関する普遍的原則である『国連グローバル・コンパクト』に、当社は 2011 年 1 月から参加しています。

社内外での積極的なＣＳＲ活動の取り組みを通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2015 年 1 月 24 日

代表取締役社長

原田憲太郎

◆グローバル・コンパクト10原則

人権	企業は、 原則1:　国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則2:　自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働基準	企業は、 原則3:　組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則4:　あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則5:　児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則6:　雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	企業は、 原則7:　環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則8:　環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則9:　環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	企業は、 原則 10:　強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

◆会社概要

会 社 名	原田鋼業株式会社
本　　社	広島県福山市大門町 5 丁目 6-35　〒721-0926 TEL. 084-941-3111（代表） FAX. 084-941-1312
資 本 金	3,000 万円
創　　業	昭和 20 年 10 月
設　　立	昭和 41 年 8 月 6 日
年　　商	51 億 4 千万円（48 期）
代 表 者	代表取締役会長　原田 弘人 代表取締役社長　原田 憲太郎
従業員数	100 名（グループ合計）
グループ	福山倉庫運輸株式会社 スチールプロ株式会社 有限会社クリーンライフ

◆2014年度活動の基本方針

STEEL PRO

国連グローバル・コンパクトへの支持を表明して４年目である本年度は、関連するステークホルダーへのグローバル・コンパクト支持の呼び掛けと、１０原則に沿った会社運営と社員の意識レベル向上を目的とする。

特に、２０１１年度から取り組んできた「身近で誰もができる活動」の幅を無理のない範囲で広げていくとともに、その活動そのものの定着を目指す。

◆人権分野に関する活動報告

STEEL PRO

人権に関する活動				
本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容
国籍、性別、障害者などに対する差別、偏見の排除	性別による職務、役職への偏見排除と適正な昇進試験の定着。	○	本年度も１名が昇進。これで4年連続して女性社員の主任昇進者が誕生。加えて、本年度は、能力評価による推薦を受け、女性としては異例の早さでの係長試験合格者も誕生。 従来、配属される社員の性別が偏っていた部門への人事異動が行われ、当社では初めてとなる経理部門の男性社員、品質管理部門の女性社員が誕生しました。	役職の昇進だけに止まらず、職務についても差別と偏見がない職場環境作りを継続して目指す。
				採用試験での公正な採用基準の設定と監視の仕組み作りを目指す。

＜女性昇進者＞

全社員が集う年末セミナー

忘年会

辞令授与式

抱負を述べる昇進者

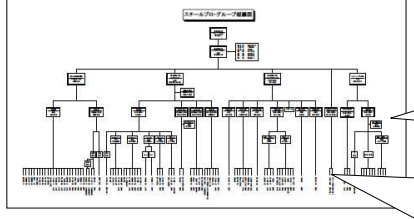
○四年連続での女性昇進者誕生

毎年年末に、全社員が福山市の本社に集まって、「年末セミナー」という催しが開かれます。この年末セミナーでは、講師を招いての勉強会や、辞令授与を含めた式典、そして夜には忘年会が行われます。

写真は、今回主任に昇進した女子社員です。緊張気味の辞令授与式と忘年会での抱負発表の様子です。

＜性別職務分離解消の試み＞

新しい組織



経理部門

品質管理部門

○性別を超えた人事異動

女性だけの職場であった経理部門に入った男性社員。男性だけの職場であった品質管理部に入った女性社員。

どちらも少しぎこちない様子ですが、新たな試みに前向きに取り組んでいます。

◆労働基準・腐敗防止分野に関する活動報告

STEEL PRO

労働基準に関する活動				
本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容
役職、職能レベルの基準作りと教育の仕組み作り	職務及び役職に応じて求められるスキルレベルの明確化を進めるとともに、その育成に社外研修を含めた教育の仕組み作り	○	スキルマップに基づいた技能講習等の資格取得に関する年間計画を立て、職能レベル向上を目指した資格取得を進めた。 役職に応じてのスキルレベル明確化と教育の仕組み作りの第1歩として、外部教育機関を利用した管理者養成のための研修制度を導入した。	個人別でのキャリア育成を目的とした教育の仕組み作りに着手し、長期的な教育の仕組み作りを目指す。
働きやすい環境の整備	子育て、介護に対する支援制度整備と運用の仕組み作り。	△	子育て、介護に対する支援の整備は済んでいるが、今年も該当者がなく、運用には至らず。	継続して、他の助成制度について調査し、その導入準備を行うとともに、実際に運用可能な体制を整える。
従業員の多様性の尊重	継続雇用制度を推進し、高年齢者への雇用の場を提供。	○	60 歳を超えての継続雇用者の増減はなく、昨年と同じ 60 歳代 4 名、70 歳代 3 名であった。その中で、最高齢の社員は 75 歳を迎えたが、現役の実務担当者として働いている。	単に高齢者の雇用に止まらず、その経験と年齢に応じた働きやすい環境作りと遣り甲斐の持てる仕事の提供を目指す。

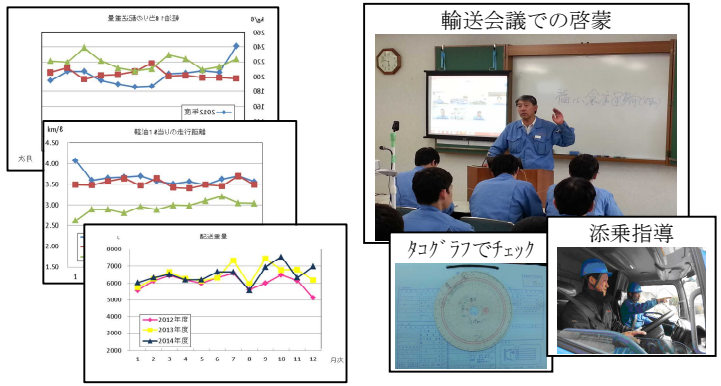
腐敗防止に関する活動				
本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容
官公庁等の入札に関する談合への関与禁止	入札への積極的参加の姿勢を示すことにより、業界内での不当な価格操作を排除。	○	件数は少ないものの、入札物件に対する直接応札を行うことで、当社の姿勢を業界内に周知させることはできた。	この活動を継続して進めることで、談合や贈収賄等の腐敗防止を目指す。
得意先や仕入れ先との適切な関係	簡単なアンケートでの自己評価と改善課題の明確化（主要外注先対象）	△	サプライ・チェーンの中での仕入活動についての仕入先にアンケートを実施。設問の不備から、問題点の掘り起しまで至らず。	アンケートの設問見直しを行うことで、仕入先の実態把握を目指すとともに、健全なサプライ・チェーン構築を目指す。

◆環境分野に関する活動報告（その1）

STEEL PRO

本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容
輸送効率の5%アップ	合い積みが可能な配送先の確保と配送ルートの見直しで配送効率のアップ。 エコ運転の励行。	△	燃料1ℓ当り配送重量は、昨年比8%アップ。 燃料1ℓ当り配送距離は、車両の大型化と積載率向上の影響で、逆に5%ダウン。	引き続き、合い積みが可能な配送先の確保と配送ルートの見直し等の改善を進め、配送効率の向上を目指す。
梱包資材のムダ削減とリサイクル	梱包用木材の回収率アップと再利用促進。	○	お客様の協力もあり、再利用できる回数も増加。 木材の消費量も、生産トン数比で10%削減。	再利用の促進活動も継続しつつ、再利用時の選別基準を明確にし、安全確保を目指す。
	製品の梱包資材、梱包形式の見直しによる無駄削減。	△	外観や製品保護に支障をきたすことはなく、月間使用量21.2%、作業時間 10.9%の削減に成功した。	引き続き、梱包方式の改善を進め、過剰包装の廃止と資源の有効活用を目指す。

＜輸送効率5%アップ＞



○合い積み配送の促進と配送ルートの見直し

営業努力もあって、総配送重量が増え、合い積み配送も増えてきました。1ℓ 当りでの配送重量と走行距離はその時の条件で増減しますが、両立できるような配車計画を目指して、新たな挑戦を行っていきます。

○エコ運転の励行

添乗指導、タコグラフでのチェックなどの個別指導に加え、輸送会議の中での啓蒙活動も行っています。

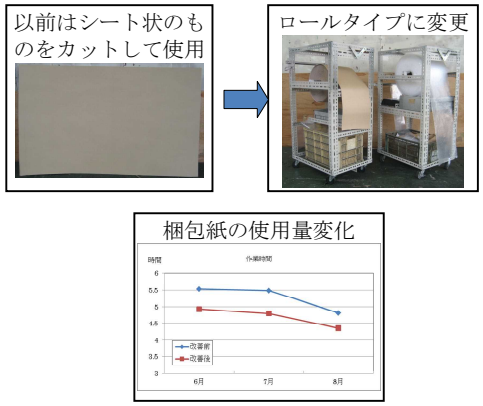
＜梱包用木材のリサイクル＞

○梱包用木材のリサイクル

以前は、回収した木材が野晒しにされることも多く、劣化で再利用できなくなることも多くありました。このため、回収サイクルの短縮と、回収後の選別、補修の迅速化を図り、再利用率、回数の向上を目指す活動を行ってきました。

結果、再利用回数が平均3回を超える木材も出てくるようになっています。

＜梱包資材の使用量削減＞



○梱包資材の使用量削減

当社の製品である鋼製棚の梱包についての見直しを行ってみました。

出荷条件によっては、個別に梱包する必要があり、何とか梱包紙の無駄を削減できないかと言う現場からの声がきっかけです。金額的には僅かなものでしたが、これからも工夫を重ねていきます。

◆環境分野に関する活動報告（その2）

STEEL PRO

本年度の活動目標・内容		結果と評価		来年度の活動目標・内容
消費電力2%削減	クールビズ、ウォームビズ。 無駄な照明、待機電力等の削減。	○	電力削減活動が定着し、既設設備の消費電力は 2%削減。	電力削減活動の継続。 会社全体として生産の効率化と新工場への生産集約を進め、5%の削減を目指す。
	省エネを目指した新工場、新ラインの完成と稼働。	△	省エネを考慮した新工場、新ラインが3月より稼働開始。既設工場も稼働しているため、残念ながら会社全体としては約40%の電力消費増となった。	

無駄な電力削減

クールビズ
ウォームビズの表示

事務所の消灯

工場の消灯

ブラインド等による
太陽光の調整

ｽｲｯﾁ付きｺﾝｾﾝﾄ

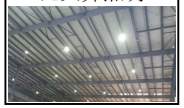
○クールビズ（26℃）、＆ウォームビズ（22℃）
エアコンの温度設定については当然として、空調を行っている部屋の密閉、ブラインド等による太陽光の調整等を徹底することで、冷暖房の効果を高める活動を実施。

○無駄な電力削減
休憩中の照明、装置類の電源OFF活動に加え、パソコン等のIT機器のスイッチ付きコンセント導入とその活用の徹底を改めて奨励。

＜省エネを目指した新工場、新ラインの稼働＞

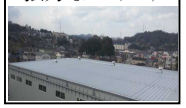
完成した新工場

ＬＥＤを使用した天井照明



必要に応じて使用する補助照明

高い屋根と
強力なﾍﾞﾝﾁﾚｰﾀ



外気流入を防ぐ
高速シャッター

断熱材と
換気用ガラリ

採光と補助照明
で効率的な照明

○新工場の稼働開始
設計段階より、省エネを目的とした様々な工夫を凝らした新工場が、1月に完成しました。
既存工場も稼働していますので、工場全体での消費電力は一旦増加しましたが、今後の設備投資が完了すると生産の集約が行われ、消費電力も半減する見込みです。

完成した新スリッターライン

先端設備の証明を
受けた最新鋭機種

インバータ制御と回生
電流利用で省エネ実現

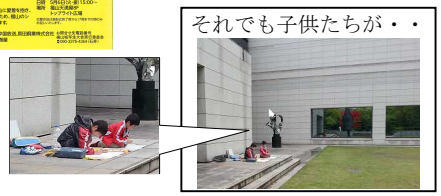
○新スリッターラインの稼働開始
最新のスリッターラインの導入により、高効率での生産が可能になりました。
特に、大容量モーターを使用するため、回生電力の活用、電力モニター等の省エネ対策にも力を入れております。

◆その他の活動報告（地域貢献を目指して：その１）

STEEL PRO

イベント

福山城写生大会後援



当社の会長が代表を務める「明るい福山を考える会」の主催する「福山城写生大会」。

今年は前日からの雨。10回目にして初めての中止です。それでも、何人かの子供たちがやって来て、日も射さず、地面に水溜りが残る中で、一生懸命に絵を画いている姿に心が痛みました。

来年はきっと良い天気に恵まれますように！

福山ばら祭への協賛

５千本を超えるバラが咲き誇る公園で行われる「福山ばら祭り」は、市民が集い楽しむ福山市最大のイベントとなっています。

当社も、地元企業として協賛させていただいております。

スポーツ振興

＜日本リーグ２部優勝の卓球部＞

前期日本卓球リーグでは2部に落ちてしまいましたが、後期リーグでは8戦全勝で優勝。来年は、再び１部でのスタートとなりました。

これで、来年も１部だけのホームマッチを地元福山で行うことができます。このホームマッチは毎年恒例のようになってり、地域の愛好家や学生諸君も楽しみしていらっしゃいます。何とか、わが卓球部も面目を保つことができたようです。

また、部員の１人が、日本卓球リーグからの派遣選手として US オープンに参加。２名が国体選手に選ばれるなど、今年の卓球部は地元広島のために頑張ってきました。

＜地域に根付くフットボールクラブ＞

地域とのコミュニケーションを目的に、本社のある大門地区出身者を募って結成したチームです。

昨年まで、当社の社員は４名だけでしたが、新たに１名が加わり、地域の方と一緒に練習や試合に励んでいます。

現在、広島県社会人リーグの１部で戦うまでにレベルアップし、今年は5位と健闘しております。

＜地元企業との合同で試合出場の剣道倶楽部＞

剣道好きが２名しかいなかったため、地元企業の方とチームを組んで出場したのが始まりでした。

現在、部員も4名となり、試合のメンバーに困ることもなくなっています。

また今年は、2名が昇段試験に挑戦。見事2名とも合格し、主将は5段になりました。

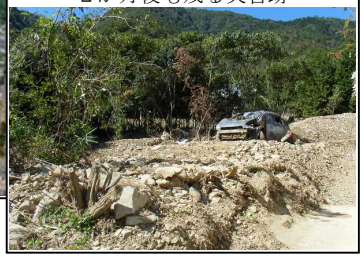
◆その他の活動報告（地域貢献を目指して：その2）

STEEL PRO

広島土砂災害ボランティア活動

山肌に残る土砂災害の跡

２か月後も残る災害跡



活動のカード

全員での整地作業

家屋の土砂の撤去

集まった土砂の山

敷地内の土砂撤去

　2014年8月20日未明のことでした。
　広島市北部に1時間に100㎜を超える猛烈な雨が降り、広範囲に渡って土石流が発生。市の住宅地を襲ったこの災害で、死者74名、家屋の全壊133棟という甚大な被害が出ました。
　当社でも、災害ボランティア活動に参加する者もいましたが、個人レベルでの参加に止まっていました。
　10月に入って、団体ボランティアの受付が県内のものに限られることになったことを聞き、人手が足らなくなるのではとの思いから、会社としてのボランティア活動への参加を決めました。
　10月18日に、総勢24名でボランティア活動に参加。
　災害発生から2ケ月近く経ったにも関わらず、未だ手つかずと言ってもよいところも多く残っており、被害の大きさに改めて衝撃を受けました。
　微力ながら、社員一丸となって、家屋や排水溝にたまった土砂のかき出しなどに従事させていただきました。
　日頃ボランティア活動に縁のなかった社員も含め、助け合いが大きな力を発揮することや、継続的な取組みが必要であることを、改めて実感した一日でした。
　被害に遭われた皆様には、この場をお借りして、謹んでお見舞い申し上げます。

公園の環境保全

春の様子

例年の花見の様子

寂しい今年の花見

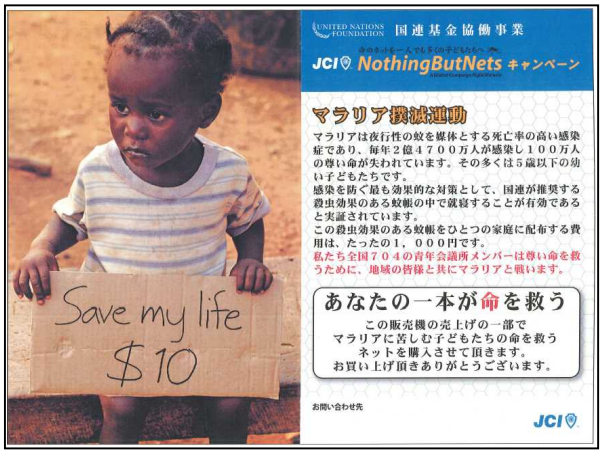
　仲富池桜公園は、当社の本社所在地である福山市大門町にある公園で、桜の名所となっています。
　この桜は、当社の初代会長、原田靖夫が、地元の方々に喜んでいただければと、ため池の周りに桜の木を植えていったのが始まりです。現在では、その時の木々も老木と呼ぶに相応しいものになっています。
　当社では、この初代会長の意思を尊重し、地元の皆様に愛される公園造りの一助となればとの思いから、剪定作業や植樹など、できる範囲でのお手伝いを続けております。
　桜が咲き始めると散歩やお花見を楽しむ方も多くいらっしゃいます。わが社の花見も例年この公園で行ってきましたが、この2年間は雨のため、窓から見る花見に終わっており、残念で仕方ありません。

◆その他の活動報告（世界の子供たちのために）

STEEL PRO

マラリア撲滅運動への参加

「JCI Nothing But Nets　キャンペーン」



本社

大阪支店

東京支店

国際青年会議所と国連基金との共同事業の一つである「JCI Nothing But Nets キャンペーン」に、当社も参加しています。

写真のような自動販売機で飲料を買うと一定金額が寄付され、殺虫剤処理された蚊帳がアフリカに送られるという仕組みです。

2012年3月より、この自動販売機を本社、大阪支店、東京支店の3箇所に設置し、

2012年は、33，796円

2013年は、52，913円

2014年は、57，254円

を寄付することができました。

エコキャップ運動への参加

事務所での回収

イベント会場での回収

集まりました

2012年から始めたばかりのエコキャップ運動ですが、本社及び各支店に回収 BOX を常設するとともに、会社のイベント等では会場に回収 BOX を設置。来訪された方々へも協力の呼び掛けを行って参りました。

最近では、わざわざ当社にキャップを持って来てくださる方も増えてきました。

皆様のお蔭で、

2012年は約2，800個

2013年は約3，500個

2014年は約3，800個

と徐々にではありますが、集まる数も増えています。